

素肌と基剤の問題を解決した海の森化粧品

海の森化粧品は、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品にこだわっています。

なぜなら、化粧品会社が製造・販売する乳液、クリーム、美容液、スペシャルアイテムや、医師が処方する軟膏やクリーム、ローションなどを正しく使用しても肌トラブルが改善されず、むしろ悪化するケースがあるという現実があるからです。このような製品では、美しい素肌、皮膚老化の防止、そして化粧映えする肌を実現できません。

この問題の一因として、化粧品や薬用化粧品の基剤が大きく影響していると考えます。基剤(ベース剤)は、これら製品の重要な構成要素であり、保湿成分、抗酸化成分、その他の有効成分や薬用成分が肌に均一に届くようにするための媒介ですが、同時に皮膚バリアにとって良くない成分が含まれています。

皮膚バリアにとって良くない成分を使わないことが、「肌トラブルを改善する」「美しい素肌、皮膚老化の防止、そして化粧映えする肌を実現する」ための鍵です。

例えば、一般的な基剤には「肌に膜を張る石油から生成されたオイル」や「合成界面活性剤」が含まれていることが多く、これらが皮膚バリアを破壊し、炎症や乾燥を引き起こします。

海の森化粧品は、「肌トラブルを改善する」「美しい素肌、皮膚老化の防止、そして化粧映えする肌を実現する」ために以下のポイントに注目しています：

1. 皮膚バリアの要「細胞間脂質のラメラ構造」を修復・強化する成分「リノール酸」を積極的に採用しています。
2. 長期使用でも安心な天然由来成分を使用しています。
3. 皮膚バリアに負担をかける基剤「合成界面活性剤」や「鉱物油」などの成分を排除しています。

これにより、肌トラブルの原因を根本から解決するだけでなく、美しい素肌、皮膚老化の防止、そして化粧映えする肌を実現することができます。

基剤の品質と組成は、化粧品の効果や肌への影響に大きく関わるため、皮膚バリアにとって良くない成分「合成界面活性剤」や「鉱物油」を使わないことが非常に重要となります。